

せいしんがい報

2019年4月1日 第120号

注目記事

- ◆1・4ページ ご寄付を頂きました
- ◆2～3ページ 誠心会主催講演会
- ◆4～7ページ クリスマス会・忘年会・新年会
- ◆10ページ 人事異動

法人本部
〒972-0161 福島県いわき市遠野町上遠野字堀切12-1
☎(0246) 74-1551 ㊟(0246) 74-1561

救護施設やしおみ荘
〒972-0161 福島県いわき市遠野町上遠野字堀切27
☎(0246) 89-3333 ㊟(0246) 89-3334

障害者支援施設ふじみの園・ショートステイほっと
〒972-0252 福島県いわき市遠野町上根本字白坂384-1
☎(0246) 89-3400 ㊟(0246) 89-3454

グループホーム レジデンスなこそ
メゾン・ド・あたご、メゾン・ド・ほりきり、コーポおかおな

ワークセンターしおさい
〒971-8161 福島県いわき市小名浜諏訪町1-10
☎(0246) 73-2077 ㊟(0246) 73-2078

天真庵
〒974-8212 福島県いわき市東田町2-11-7
☎(0246) 77-2033 ㊟(0246) 77-2733

障害児通所支援第2チャーム・日中一時支援第2チャーム
〒973-8409 福島県いわき市内郷御台境町鶴巻45-2
☎(0246) 84-6882 ㊟(0246) 84-6883

障害児通所支援みよん・日中一時支援みよん
〒974-8261 福島県いわき市植田町林内11-1
☎(0246) 85-5720 ㊟(0246) 85-5721

ハーモニセンター
〒971-8162 福島県いわき市小名浜花畑町19-10

・指定特定相談事業所せんとらる
☎(0246) 38-3520 ㊟(0246) 38-3521

・虹のかけはし
☎(0246) 73-0111 ㊟(0246) 73-0112

・障害児通所支援チャーム・日中一時支援チャーム
☎(0246) 73-2033 ㊟(0246) 73-2034

イオングループ ミニストップ様より ご寄付を頂きました

昨年に引き続き今年もイオングループ ミニストップ株式会社様より、イオン社会福祉基金ボランティア給付制度の取り組みの一環として、法人内の施設へご寄付を頂きました。救護施設やしおみ荘、障害者支援施設ふじみの園、障害児通所支援みよんは節分ベルギーチョコレートセットを、就労継続支援B型虹のかけはし、ワークセンターしおさいは、恵方巻き、フルーツロールケーキ、飲み物を頂きました。また、



ミニストップ東日本営業本部東北営業部会津・南福島チームストアアドバイザーである濱口朋也氏をはじめ、ミニストップ各店舗のスタッフの方々が直接施設を訪問され、利用者と一緒に配膳や節分行事のお手伝いから豆まきにも参加してくださいました。美味しいご寄付、大変ありがとうございました。



大同生命 社会貢献の会様より ご寄付を頂きました

ふじみの園

平成30年12月19日（水）誠心会本部におきまして、大同生命社会貢献の会様よりふじみの園へクリスマスプレゼントとして20万円のご寄付を頂きました。その使い道について皆で案を出し合い、利用者の方々の生活環境の改善として除加湿機能付きの空気清浄器を2台購入致しました。現在フル稼働中です。大切に使用させていただきます。大同生命社会貢献の会様、ありがとうございました。



○幼児教育の無償化

幼児教育の無償化については、就学前の障害児の発達支援（いわゆる障害児通園施設）についても、併せて無償化が進められています。幼稚園、保育所及び認定こども園と障害児通園施設の両方を利用する場合は、両方とも無償化の対象となります。

○相談支援について

障害児支援利用計画についてはセルフプランの割合が高い状況です。相談支援の質の向上は重要な課題であり、そのために研修内容の見直し



や研修時間を増やすことが検討されています。一方、障害を持つ当事者が相談員になるケースもあり、研修を受講するためのアクセスの面も検討していく課題となっています。

○就労支援について

就労系障害福祉サービスから一般就労への移行は、平成15年の1,288人に比べて、平成28年は10,517人に増加しています。しかし、依然として多い数とは言えません。

就労移行支援事業所については、一般就労への移行率が20%以上の事業所の割合は50%ですが、問題は移行率が0%の事業所が約30%あることです。

就労継続支援A型については、営利法人が設置する事業所数が著しく増加しています。一方で、生産活動の内容が適切でない事業所や、不適切な事例が増えているとの指摘があり、支援内容の適正化と就労の質の向上が求められています。

就労継続支援B型については、平

均工賃月額が平成20年度以降、毎年増加してきています。都市部が必ずしも高いわけではなく、鳥取県のように県全体で取り組みを行い、1年間で平均工賃を1,000円上げたところもあります。

○障害児支援、医療的ケア児等への支援

放課後等デイサービスについては、利用者、費用、事業所の数が大幅に増加しています。一方、利潤を追求し、支援の質が低い事業所やテレビを見せているだけなど適切ではない支援を行う事業所が増えているとの指摘があり、支援内容の適正化と質の向上が求められています。

医療的ケア児については、医学の進歩を背景として、歩ける医療的ケア児から寝たきりの重症心身障害児まで幅広く、その定義が難しい状況になっています。医療的ケア児の問題は、単に医療、福祉の問題だけではなく、教育、保育等様々な分野と連携していく必要があります。



講演会を終えて

ご多忙の中、たくさんの方の関係者の皆様にご参加いただいたこと、大変ありがたかったです。参加された方々からはご質問があり、また様々なお立場の方と意見交換ができ、有意義な時間を持つことができました。今回の講演会で学んだことを利用者支援に生かしていけるよう、今後とも日々努力していきたいと思っています。

平成30年度 社会福祉法人誠心会主催講演会

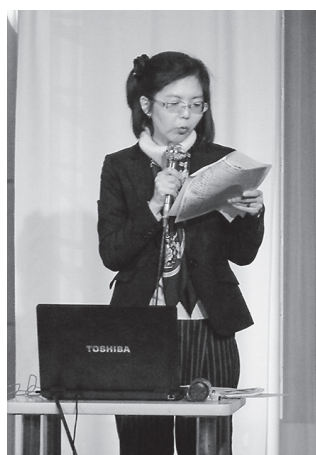
平成31年2月16日（土）パレスい
わやにて、当法人主催の講演会を開
催いたしました。県内外の施設関係
者、行政関係者、保護者等145名
の参加のもと、厚生労働省社会・援
護局障害保健福祉部障害福祉課長 源
河真規子氏をお招きし、障害保健福
祉施策の動向「地域共生社会の実現
に向けて」をテーマにご講演をいた



だきました。また、御来賓として衆
議院議員 吉野正芳様、いわき市長
清水敏男様にはご祝辞を頂きました。
多くの方々に支えられ、この講演会
が無事開催されましたことを、この
場を借りて心より御礼申し上げます。
ありがとうございます。
※以下に、講演内容をまとめたも
のをご紹介します。

○平成30年度報酬改定

近年、障害者の重度化・高齢化が
課題となっており、そのため地域移
行・地域生活の支援が検討され、平



成30年度の報酬改定の内容にも含ま
れています。

- ・重度の障害者への支援を可能にす
るグループホームの新たな類型
の創設（日中サービス支援型）

従来の共同生活援助よりも手
厚い世話人の配置となります。
生活単位であるユニットの定員
は従来どおり10名を維持しつつ、
1つの建物への入居が2ユニッ
ト（20名）まで認められます。
また、地域における重度障害者
の緊急一時的な宿泊の場を提供
するため、短期入所の併設が必
ずとなります。

- ・自立生活援助

障害者支援施設やグループ
ホーム、精神科病院等から地域
での一人暮らしに移行した障害
者で、理解力や生活力に不安が
ある人に対して、一定期間（退
所等から1年以内）にわたり、
定期的な巡回訪問や随時の対応
を行います。

- ・地域生活支援拠点等の機能強化

障害者の重度化・高齢化や「親

亡き後」を見据え、居住支援のた
めの機能（相談、緊急時の受け入れ・
対応、体験の機会・場、専門的人
材の確保・養成、地域の体制づくり）
を、地域の実情に応じた創意工夫
により整備し、障害者の生活を地
域全体で支えるサービス提供体制
の構築を目指しています。

公費負担額や伸び率が増加して
いることから、以前よりも報酬改
定が注目されており、サービスの
内容や質も問われています。

○介護人材の処遇改善

介護サービス事業所における勤続
年数10年以上の介護福祉士について
月額平均8万円相当の処遇改善を行
うことを算定根拠に、公費1,000
億円程度を投じ、処遇改善が行わ
れます。また、障害福祉人材につい
ても、介護人材と同様の処遇改善が
行われます。処遇改善については、
消費税率の引上げに伴う報酬改定に
おいて対応し、2019年10月から
実施されます。

連合福島いわき地区連合会様より ご寄付を頂きました

平成30年12月25日（火）に連合福島いわき地区連合会様（新妻浩議長）より寄付金5万円をいただきました。寄付金は組合によるクリスマス映画鑑賞券の売り上げの一部で、副議長の稲川昌浩氏より「利用者の方々にお使いください」との事で贈呈されました。虹のかけはしでは、利用者の施設活動において有意義に使わせていただきたいと思います。ありがとうございました。



2018年 クリスマス会

ふじみの園

12月21日（金）ふじみの園の地域交流ホームにてクリスマス会を開催しました。開会式では、たくさんの電飾で飾り付けられたクリスマスツリーの点灯式が行われ、華やかにライトアップされると、会場からは歓声が沸き上がりました。その後は利用者と職員によるクリスマスソングの演奏披露や、参加して頂いた保護者の皆様を交えての会食が行われました。会食中は、利用者の園での思い出を収めた写真がスライドに写し出され、後半にはサンタクロースとトナカイが登場し、利用者一人ひとりにお菓子のプレゼントがありました。会のラストには、利用者が大好きな菊地章夫さんが登場し、素敵な歌声で会場を包んでくださいました。アンコールにも応えていただき、利用者はとても嬉しそうに、ステージ上で体を動かしながら音楽を楽しんでいました。



やしおみ荘

平成30年12月12日（水）やしおみ荘の体育館にて、今年もクリスマス会を実施しました。今年は初めての試みとして、やしおみ荘内の利用者代表の自治会役員と共に、地域の方を招待し、どのような内容にするかを話し合いました。遠野地区の社会福祉協議会とも連携し、自治会役員を始めとした利用者の意見として、遠野保育所の子ども達を招待する事に決定しました。

自治会役員を中心に当日に向けての飾り付けや交流会で行なうゲームの準備を行ない、少しずつ形になって行くにつれ、徐々に楽しみも膨らんでいきます。中には司会の役割に自ら立候補したものの、いざその日が近づいてくると緊張している利用者もいましたが、本番に向けて普段よりも身だしなみを整えたり、子ども達に喜んでもらえるよう練習を重ね、気合十分な様子でした。

当日は冬らしい気温ではありましたが、やしおみ荘の利用者はそれに負けないくらいに、元気よく拍手をしながら、園児22名、先生3名の計25名を迎えました。

遠野保育所の子ども達から、『U・S・A』『おど

るポンポコリン』『パプリカ』と3つのお遊戯を披露して頂

きましたが、利用者の中には知っている方もおり、お遊戯を見ながら歌を口ずさんだり、笑顔で手拍子をとったり等、見るだけでなく一緒になって楽しんでいました。その後、利用者と子ども達と一緒にグループを組み、動物等のイラストを用いた手作りのビンゴゲームを行ないました。一つ一つイラスト名が読み上げられると、印を付け、ビンゴになったことを子ども達に教えている姿も見受けられました。他にもクリスマス曲と一緒に合唱したり、記念撮影を行なったりと、最後まで笑顔溢れる楽しい時間を過ごす事ができました。

昨年に続き、地域貢献の一環として実施したクリスマス会ですが、開催するにあたってご協力頂いた遠野保育所様、遠野地区協議会様には、この場をお借りして深く御礼申し上げます。



2018年 クリスマス会 チャーむ・第2チャーむ・みによん



12月25日（火）チャーむ・第2チャーむ・みによん合同で、クリスマス会を行いました。ピアノに合わせて「あわてんぼうのサンタクロース」「ジングルベル」の歌を

皆で歌ったり、絵本鑑賞をしたりしました。特に仕掛け絵本から流れる音楽には興味深そうに耳を傾けていました。また、鈴の音と共に登場したサンタクロースから順番にプレゼントを受け取ると中身が気になって仕方がない様子でしたが、会食も和やかに進みとても楽しい会となりました。



天真庵

12月21日（金）天真庵にてクリスマス会を開きました。午前中は、通常通り弁当の製造・配達を行いましたが、その後は皆で職員特製ランチを食べ、リース作りを行いました。職員特製ランチは、いつもの昼食より少し豪華だったので利用

者の皆さんはずいぶん嬉しそうに食べてくれました。リース作りでは、リースの土台と飾り用のモールやリボン等を準備すると、利用者一人一人違った感性で個性あふれるリースが出来上がりました。どの利用者さんも笑顔が見られ、あっという間に楽しい時間が過ぎました。

虹のかけはし



12月24日(月)午前中に作業を行い、昼食後にクリスマス会を行いました。
今年を振り返り、皆から今年の反省や頑張った事を一人ひとり発表してもらいました。
その後、皆でクリスマスケーキを食べ、いよいよビンゴ大会の始まりです。職員が数字を読み上げていくと、皆から「ないよー」や「あったー」の声があちらこちらから聞こえてきました。
なかなか、数字が揃わず焦る方もいましたが、数字が揃うと「ビンゴ」と大きな声で叫び、笑顔でプレゼントを受け取っていました。
来年も、皆で楽しいクリスマス会が過ごせるといいなと思いました。

2018年 忘年会

クリスマス会兼忘年会

ワークセンターしおさい

12月14日(金)午前中に作業を行った後、まねきねこ小名浜店にてクリスマス会と忘年会を兼ねたカラオケ大会を行いました。この時期に行うカラオケ大会は初めてで、皆さん驚きながらもとても楽しみにしていました。昼食でお腹を満たした後はお待ちかねのカラオケのスタート。それぞれ得意の楽曲を熱唱し、みんなで1年間の就労を労い合い締めくくりました。



平成30年度 忘年会～平成最後の思い出に～

やしおみ荘

12月19日(水)やしおみ荘の体育館にて忘年会を行いました。

まずはじゃんけん大会を行ない、じゃんけんで職員に勝った利用者からクジを引き、その数字と合うプレゼントと交換しました。じゃんけん大会は大いに盛り上がり、職員に勝つと「やったー」「何のプレゼントかな」との声が聞かれ、交換した袋の中を見ると筆記用具やメモ帳等の様々なプレゼントが入っており、利用者間で見せ合う姿も見られました。中でも一つしかない特賞を当てた利用者は大喜びで、「とっても嬉しいです。大切にしたいです。」との感想が聞かれました。

次は待ちに待ったカラオケ大会。カラオケの機械が新しくなり、選曲が多くなった事で歌う曲の幅も広がりました。歌唱後に点数が出る為、高得点が出ると拍手が起き、歌った利用者も誇らしげでした。カラオケ大会最後の曲は全員で歌い、平成最後の忘年会は利用者の心に残る思い出になりました。

2019年 新年会

ワークセンターしおさい

1月18日(金)午前中に作業を行った後、まねきねこにて新年会のカラオケ大会を行いました。昼食とドリンクバー、おやつを食べながら自分が歌う番では大熱唱。他の人が歌っている時には手拍子やダンスで場を盛り上げ、全員が一体となって楽しめていました。最後には「今年も頑張ろう」と一人ひとりが気持ちを引き締めました。



ふじみの園

1月16日（水）ふじみの園「地域交流ホームふじみの里」にて新年会を行いました。

昨年の新年会で開催し、利用者から好評であった「ジャンボすごろく」を今年も行いました。4チームに分かれ、手作りのサイコロを振りながら止まったマス目のお題をクリアしていきました。「別チームの方〇名と写真撮影」のお題では、日頃写真を撮ることがない方々が一緒に撮影することができ、良い機会となりました。一番多く当たったマス目は変装シリーズの中の「リボンのカチューシャを付ける」でしたが、男女隔てなく多数の方がリボンを付けた姿に大盛り上がりでした。今年も利用者、職員共に健康で穏やかに過ごせますように。



虹のかけはし

1月14日（月）午前中の作業に参加した後、午後からは楽しみにしていた新年会のカラオケ大会を行いました。昼食中も鼻歌を歌ったり、「何の曲を歌うの?」といった会話も聞かれ、ソワソワした様子が見られました。ハーモニーセンター近くのまねきねこに到着すると、少し緊張した様子でしたが、入室し曲目を入力して歌が始まると、リズムに合わせて手拍子をしたり、体で表現しながら、熱唱する利用者さんもいました。あっという間の2時間で、皆さん楽しく過ごせたようで、さっそく「また、カラオケに行きたい」といった声が沢山聞かれ、良い1年のスタートとなりました。



天真庵

1月4日（金）午前中に作業を行い、午後から天真庵にて新年会を行いました。昼食後、利用者一人ひとりに今年一年の抱負を発表してもらいました。その後、年始めとしてかるた取りを行い、お互い何枚取ったか見せ合う等、楽しく過ごすことが出来ました。

やしおみ荘

1月23日（水）今年は石川町にある「母畑温泉八幡屋」にて新年会を行ないました。場所は利用者で構成されている自治会も含めて話し合い、「いつもと違う場所に行きたい」との要望から決めました。会場に向かうバスの中も、これから出てくる食事や催し物について談笑する姿が見受けられました。新年会が始まり、施設長から挨拶を頂き、利用者代表から「今年も良い年にしましょう」と元気の良い乾杯の挨拶をすると、皆さんお待ちかねの会食タイムです。テーブルの上には石川牛、鍋物、刺身等の豪華な食事が並べられ、次に運ばれてくるメニューが待ち遠しい様子でした。終盤にはいわき市出身の歌手桜田瞳さんによる歌謡ショーがあり、利用者の年齢層に合わせた曲を歌って頂き、知っている曲が流れると手拍子をとる方、一緒に歌っている方、さらに積極的に握手を求める方もおり、大いに楽しむことができました。新年会は多くの利用者が楽しみにしている行事の一つでもあり、久しぶりに大人数での遠出の外出となりました。利用者からは「一泊旅行でここに来てみたい」「来年も楽しみにしている」との感想や要望も聞かれました。年の初めに相応しい楽しい新年会となり、今年も笑いのある明るい年となることでしょう。



大倉保育園の交流会

やしおみ荘

2月20日(水) 毎年楽しみにしている大倉保育園の子ども達との交流会をやしおみ荘の体育館にて行ないました。今季、いわき市内ではインフルエンザが警報レベルまで達し、当日まで心配していましたが、無事に今年は園児50名、先生8名の皆さんをお迎えすることができました。園児の皆さんが到着する前から、今か今かと待ち望んでおり、体育館と荘内を何度も行き来する等、ドキドキしている様子が職員にも伝わる程でした。

音楽が鳴り子ども達が登場すると、思わず笑みがこぼれてしまっていた利用者。「かわいい」「こんにちは」とそれぞれ口にする姿が見られました。次長の挨拶、保育園の園長先生の挨拶の後、子ども達は「U. S. A」「パプリカ」を含めた4つのお遊戯を見せて頂きました。歌やダンスの可愛らしさに思わず拍手をしたり、中には感極まって泣いてしまう利用者もいました。

「きらきら星」「しあわせなら手をたたこう」の2曲は、利用者もよく知っている歌でもあった為、曲や歌詞に合わせて手をたたいたり、足踏みしたりと子ども達と一緒に歌う事がとても楽しかったようです。

楽しい時間はあっという間に過ぎてしまい、これで終わってしまうのは名残惜しかったのか、利用者の方からアンコールの声が聞かれました。恥ずかしそうな表情をしながらも、それに応えてもう一度お遊戯を見せてくれた事もあり、交流会は盛大に盛り上がりました。

最後に子ども達からクレヨンで描いた可愛い絵と鉢植えのプレゼント、やしおみ荘からは虹のかけはしのキャラクターのパンをプレゼントしました。

また来年も交流会が行われるようお願いを込めながら握手を交わし、保育園のバスを見えなくなるまで見送る利用者、後ろを振り返りいつまでも手を振る子ども達の姿がとても印象的でした。



辞令交付式

4月1日(月) やしおみ荘体育館にて、平成31年度辞令交付式を行いました。理事長より、組織の一員として一人ひとりが倫理観を持って利用者支援にあたってほしいとの話や、新入社員をはじめ職員への励ましの言葉がありました。職員一同心新たに、今年度のスタートを切りました。



権利擁護委員会 第三者委員との懇談会の報告

10月30日（火）就労継続支援B型事業所「天真庵」にて会食した後、平成30年度上半期の権利擁護委員会第三者委員との懇談会が開催されました。第三者委員からは鎌田真理子氏、大井川泰子氏、七島吏恵氏が出席されました。法人内からは松崎理事長をはじめ各事業所の権利擁護委員が出席し、平成30年2月21日から平成30年9月20日までに受け付けた苦情について報告しました。理事長挨拶では利用者を中心とした構想について言及する事から始まり、今回は大井川氏が当法人のみによん（児童）、虹のかけはし（就労）、レジデンスなこそ（グループホー

ム）の3事業所を見学した事についての感想と参考になるアドバイスをいただきました。鎌田氏からは、障害者の男女のセクシャリティというデリケートな問題について、法人内だけではなく大学のカウンセリングを活用する等、苦情を解決する手段の一つとして外部の力も必要であるとの話がありました。また、第三者委員の方々からは、法人としての苦情に対する姿勢は素晴らしいものがあるとの評価もいただきました。今回の懇談会を通じ、地域の力を活用する事の必要性、社会資源の重要性を学びました。

誠心会 苦情解決実績集計表

平成30年2月21日～30年9月20日

分類	やしおみ荘	ふじみの園	レジデンスなこそ	あたごほりきり	メゾン・ド	おこなポ	こっとな	ショートのステイ	チャーム	第2チャーム	みによん	せんとらる	虹のかけはし	しおさい	天真庵	計
1 食事	26	4	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33
2 その他のケア	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
3 看護サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4 医療サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 生活支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 その他のプログラム	51	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54
7 相談・連絡	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4	0	0	0	0	6
8 居住環境	2	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
9 職員の対応	10	4	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	9	27	
10 利用者間の関係	24	3	2	6	0	0	0	2	0	0	0	1	1	0	39	
11 制度に関するもの	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12 その他	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3	
合計	113	13	5	9	4	1	3	2	1	4	4	4	1	9	169	
話し合いで解決	88	0	3	0	1	0	3	2	0	3	3	3	0	9	112	
改善で解決	10	11	1	9	0	1	0	0	1	1	1	1	1	0	36	
未解決	15	2	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	



新任職員挨拶

ふじみの園生活支援員 本田 明美さん

平成30年12月よりふじみの園に入職いたしました。福祉関係の仕事に就くのは初めてなので、日々緊張の連続ですが、一步一步前進し、利用者の方との距離を少しずつ縮められるよう頑張ります。よろしくお願い致します。

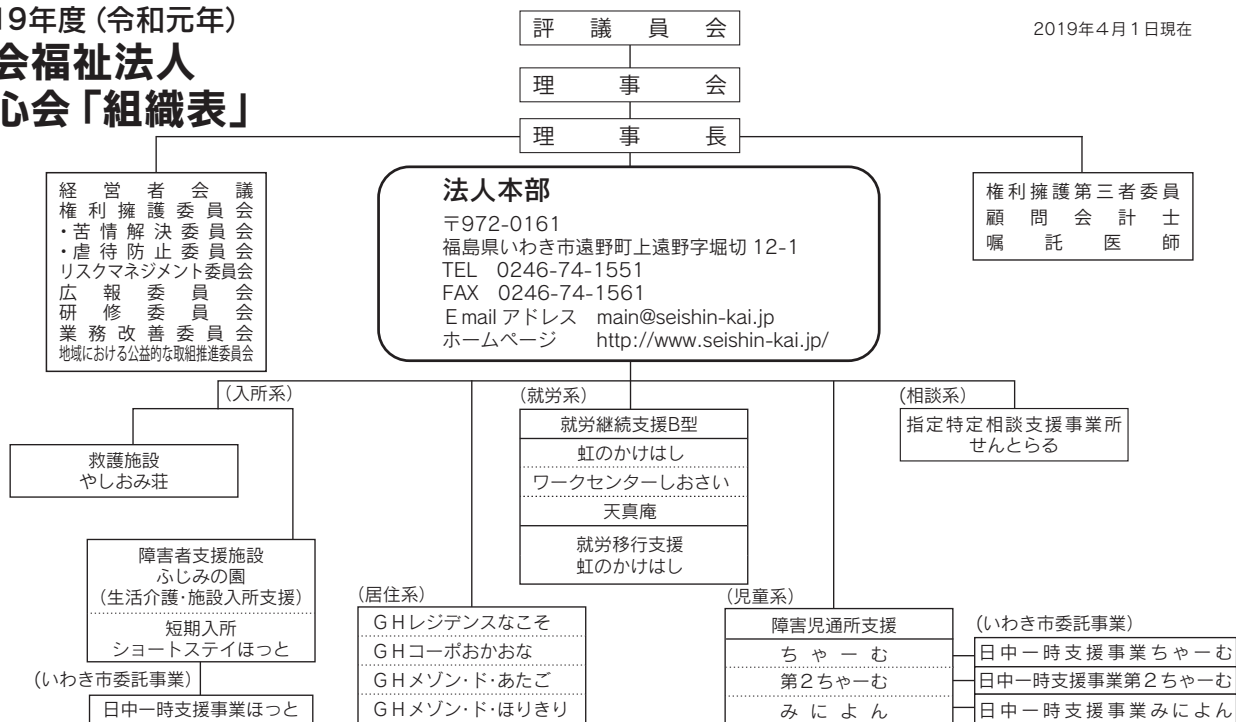


寄付を頂いた方

佐藤 淳一 様(佐藤理容所 様)
イオングループミニストップ株式会社東北営業部 様
大同生命社会貢献の会 様
連合福島いわき地区連合会 様

2019年度（令和元年）
社会福祉法人
誠心会「組織表」

2019年4月1日現在



人事異動

■ 退 職

氏 名	勤 務 先	退職年月日
久 野 信 人	共同生活援助レジデンスなこそ 副主任兼サービス管理責任者 兼生活支援員兼世話人	平成31年 3 月31日
我 妻 典 子	救護施設やしおみ荘 介護職員	平成31年 3 月31日
岡 田 みなみ	障害者支援施設ふじみの園 生活支援員	平成31年 3 月31日

■新規採用

氏 名	勤 務 先	採用年月日
溝 井 ほのか	障害児通所支援第２ちゃーむ 保育士	平成31年４月１日
黒 谷 なつみ	障害者支援施設ふじみの園 生活支援員	平成31年４月１日

■昇格異動

氏 名	旧	新
七木田 俊 介	相談支援事業部せんとらる 主任兼管理者兼相談支援専門員	相談支援事業部せんとらる 主幹兼管理者兼相談支援専門員
佐 藤 香	救護施設やしおみ荘 介護職員	救護施設やしおみ荘 副主任兼介護職員
芳 賀 美穂子	障害児通所支援第2 ちゃーむ 児童指導員	障害児通所支援第2 ちゃーむ 副主任兼児童指導員
林 信 孝	障害者支援施設ふじみの園 生活支援員	障害者支援施設ふじみの園 副主任兼生活支援員
園 部 みどり	救護施設やしおみ荘 栄養士	障害者支援施設ふじみの園 栄養士
江 尻 直 美	虹のかけはし（就労移行支援事業） 職業指導員	共同生活援助レジデンスなこそ 生活支援員兼世話人

編集後記

厳しい寒さの冬が終わり、暖かな春の息吹が感じられる季節がやってきました。皆さんは去年1年を振り返るとどのような年だったのでしょうか。忙しい日々の中でも笑顔を忘れず、人との出会いや繋がりを大切にしながら、新たな気持ちで新年度をスタートさせたいと思います。